

北海道知事 高橋 はるみ様

ふるさと銀河線 廃止について

「石川県 中学2年生」

北陸地方もようやく梅雨が明け、夏本番に入りました。

僕は、中学2年生の鉄道大好き少年です。

知事は電車に乗った事ありますか。

今年の3月末で能登鉄道の能登線が廃線になり、とても悲しい思いをしました。

住民の足となっているところは金沢市に行くのに「北陸鉄道 浅野川線」の電車を利用します。 鉄道の便利さは、僕が良く知っています。

さて、「北海道ちほく高原鉄道 ふるさと銀河線」も、来年の春に廃線と聞きましたが先日 NHK 総合で「ご近所の底力」という番組をご覧になりましたか。(7・21放送) その番組で「南海鉄道 貴志川線」が軌道と車両運行に分けて走る「上下分離」という方式で軌道の管理は県が行い、車両運行は市町村・住民・鉄道会社が行うことと、言います。この方式を取り入れているのは、えちぜん鉄道(京福電鉄)・南海電鉄です。

ふるさと銀河線もこの「上下分離方式」を取り入れてはいかがでしょうか。

そして富山県の万葉線(加越能鉄道)では、行政や市民は残したいけど、加越能鉄道は廃止したいと対立した鉄道です。そして高岡駅前の商店街の皆さんが設立した「RACDA 高岡」を創り今の万葉線があります。[www.geocities.co.jp/HeartLand-Ayame/1282/racda.html](http://www.geocities.co.jp/HeartLand-Ayame/1282/racda.html) もし、ふるさと銀河線が廃止になったとき、当然バス転換になります。

しかし、雪が降ったとき、道路は渋滞し、バスも、もちろん徐行運転を行うため、どうしてもダイヤがおくれますよね。

しかしいし、鉄道はバスと違い専用の線路を走るため、あまり遅れないですよ。

それに鉄道は、乗る人が増えたとき列車を連結して走れば、人がたくさん乗れます。

最近、知床は世界自然遺産になり、より一層環境に気を使おうと思います。

今後必ず鉄道は必要な交通機関となってきます。

「鉄道は乗る人がいないから廃止はやむを得ない」という人は鉄道の良さはわからない。または住民の事をすこしもかんがえていないと思います。鉄道はみんなが楽しめる旅の一種だと思います。

「ふるさと銀河線再生ネットワーク」のみなさんは今日も銀河線を配りさせてはならないと市民の皆さんに呼びかけています。「鉄道は住民の力で働いている」という事を思って、もう一度お考えになって下さい。鉄道で通勤している人は「バス転換は反対」と言っていると思います。どうか ふるさと銀河線を廃止にしないで下さい。